

ライブラリー 通信

LIBRARY NEWS

TOHOKU UNIVERSITY OF ART & DESIGN
LIBRARY NEWS

発行:東北芸術工科大学図書館

tel. 023-627-2044

fax 023-627-2085

mail : library@aga.tuad.ac.jp

平成23年10月3日 No.38

2011. autumn

[秋晴れ読書号]

ピカソのラブ・レター

「MT私は君のものだP」

美術史・文化財保存修復学科 准教授 安發 和彰

山形美術館には、ピカソ（一八八一年—一九七三年）の《マリー＝テレーズの肖像》（一九三七年四月九日）が保管・展示されている（吉野石膏コレクション）。ペレー帽をかぶったマリー＝テレーズが、ピカソお気に入りの肘掛け椅子の背にもたれかかるこの胸像は、鮮明な色彩、正面向きと横向きを統合した頭部、大きな両手の太い指の表現が、いかにも「ピカソ風」にモデルの存在感を力強く、ありありと示している。

マリー＝テレーズ・ワルテル（一九〇九—七七七年）は、後年の彼女自身の回想（一九六八と七四年）によれば、「一九二七年一月八日の夕方、パリの街角で、散歩途中のピカソに声を掛けられた。「あなたはとても魅力的な顔立ちだ。あなたの肖像を描きたい。私はピカソです。私たちは一緒にすごいたびがでさる」と。ドイツの寄宿学校からパリに戻ったばかりの少女は、「人生も、ピカソ（の名前すら）も、何も知らない」十七才だった。「二週間もたないうちに」彼女は、作品のモデルとして、同時にオルガを妻とするピカソの「秘密」の愛人として、激烈な愛を受ける。その後十四年以上に渡って、絶頂期を迎えるピカソにインスピレーションを与え続けた。ピカソの直観に間違いはなかったのである。

この間にピカソとマリー＝テレーズが交わした手紙（または手渡しメモワール）が、ふたりの死後に見出され、とくにピカソからの私信の一部が、さまざまな機会に紹介されてきている。もともと気心の知れた友人や知人の間では、陽気でユーモアに溢れ、機知に富む会話で皆を楽しませたピカソであったが、

これら秘匿のラブ・レターには、それとは異なる人間ピカソの一面を伝える新たな資料として関心が寄せられている。その幾つかを見てみよう。

「MT私の愛しいMT。リエージュに行くから、君も来て。金曜日にはパリに戻るつもりだから。気がおかしくなってしまうくらい、そうしたいと思う。いつも、いや、いつもにもまして、私は君のものだP。」（一九二九年十月十二日）（MTはマリー＝テレーズ、Pは彼女によるピカソの愛称Picの頭文字。リエージュは、ピカソがマリー＝テレーズとの逢瀬のために、パリの自宅近くに借りた、リエージュ通り11番のアパルトマン）ここには、密会を欲するピカソの激情が、性急、率直に示されている。「週末に会う」私たちはいつもふたりだけ。それで幸せでした。彼は私に、私が彼の人生を救ったと言っていました。」（マリー＝テレーズの回想）。

「MTWP愛する人。君の面影なしには生きられない。その想いが日に日に私の愛を育む。：すぐにでも本気で仕事にかかりたい。私は君と私たちの娘のことを想っている。私は君のものだ。」（一九三五年十月三日）（MTWPはワルテルや、それとPの組み合わせ文字は、ピカソの絵画にも繰り返し現れた、ふたりの結びつきを示す秘密の愛のメッセージだった。マリー＝テレーズは直前の九月五日に娘マヤを出産。そのときからピカソの自宅そばに住んだ。「本気で仕事に」は、ピカソの求愛の言葉。「彼は（会えば）すぐベッド。それから（私を前にして）制作に没頭しました」（マリー＝テレーズの回想）。ピカソにとっては愛

の行為が創造のエネルギーをかきたてていた。「愛しいMT。君を愛してる。MT私を焼きつくす、昇りくる私の太陽。君はいつだって私と一緒に。：君の唇の感触より、君のその姿より、君の体のすべてより、君のためにありつただけの愛をつくして愛するより、ずっと、ずっと、ずっと愛してる。：」（一九三六年八月二十九日）実際ピカソは、一九二七年の出会いから、大作《ゲルニカ》を描き上げる頃（一九三七年六月）以降まで、マリー＝テレーズの身体を、絵画・彫刻・版画を駆使して、精神的に表現し続けた。それらは、あるときは古典主義的な端正さで、またあるときは無限的なデフォルメの手法で、彼女の肉体の奥底にある性愛のエロスの瑞々しさ、生命の根源的なエネルギーの豊かさを追求する芸術に高められた。

一九三七年の一月から四月にかけて、ピカソは、パリ郊外、森の木々に囲まれたトランブリーの新しいアトリエで、山形美術館の肖像を含めて二十点に及ぶマリー＝テレーズ像を、誰にも知られず描き続けた。いずれも、そのメランコリックな眼差しに神秘的な雰囲気漂う作品だったが、このときのピカソの大胆かつ繊細な筆触は、「私は君のものだ」と言われて愛した、彼女の生命の鼓動、静かで密やかな息づかいを明確に捉えている。



企画展示から

後期の十二月までの図書企画展示のうち、「企画者の本棚／企画構想学科 教員推薦本」について見どころをご紹介します。

企画構想学科の六人の先生方から、大学生の皆さんにお薦めの本を約二〇〇冊選んでいただきました。マーケティング関連の本を中心に、様々な分野の本が選ばれています。伝わってくるのは、毎日の生活の中でも「志を強く持つこと」が必要だということ。

今回は先生方が、「特にお薦めの一冊」を選び、皆さんへのメッセージを寄せてくださっています。

●小山薫堂先生のお薦めの一冊

「憂鬱でなければ、仕事じゃない」

講談社（見城徹・藤田晋）



159
ケンジ

大学で過ごす四年間：それは人生最大の分岐点です。この最も大切な時期に、一つでも多くの「魂のある言葉」に出会う：それがきっと、後の成功につながると思います。

失敗した時、自信を喪失した時、友達とケンカした時：

この本には救いの手をさしのべる「魂のある言葉」が詰まっています。

●軽部政治先生のお薦めの一冊

「お菓子を仕事にできる幸福」

日経B.P.社（東ハト）



588.3
トウハト

倒産という苦難に直面し希望を失いかけていた社員のために、クリスマスパーティーで配った本。もともとは非売品でした。大好きなことを仕事にできるしあわせや、チームプレイの重要性をハトオトコというかわいらしいキャラクターがナビゲートします。何をやるにも基本となる「志」を思い出させてくれる絵本です。

●山下英一先生のお薦めの一冊

「内臓のはたらきと子どものころ」

築地書館（三木成夫）



376.1
MI
6

人間観が大きく揺らいでいる現代。三木先生は、人間の植物性（内臓）が「ころ」の根拠だとして、近代の人間観の見直しを根源的に問いかけています。自分の身体性を見つめ元氣よく生きるための一冊。

●松村茂先生のお薦めの一冊

「志高く 孫正義正伝」

実業之日本社文庫（井上篤夫）



289.1
IN

本書は、孫正義の半生を記したものである。彼は留学先で猛烈に勉強した。並の量ではな

い。そして一日の授業の合間のわずかな隙間時間に、たくさんの企画を捻りだし、訓練を続ける。孫正義の高い志と実践を真似してほしい。

●田中範男先生のお薦めの一冊

「考具」

阪急コミュニケーションズ（加藤昌治）



674.04
カトウ

「アイデアマンになりたいなら、この一冊」
アイデアは、残念ながら、いきなり天から降ってくることはほとんどありません。そんな時、力を発揮してくれるのがアイデア発想法。この本では、取っ付きにくいと思われる発想法が複数取り上げられ、分かりやすく説明されています。自分にぴったりの発想法が必ず見つかることでしょう。

●平林千春先生のお薦めの三冊

①「ミラーニューロンの発見」

早川書房

（マルコ・イアコポーニ著／塩原通緒訳）



491
MA
文庫

近年の脳科学発展の中で最大の功績がミラーニューロンの発見である。人が共感したり、あるいは意識を持つたり、コミュニケーションが成立するのは、すべてミラーニューロンの働きかもしれない。それがどのように発見され、どのような知見をもたらしたか？パルマ大学のリゾラッティらの軌跡を追った

科学ドキュメント。

②「生物と無生物のあいだ」

講談社現代新書（福岡伸一）



461
フクオカ
文庫

分子生物学の立場から生命とは何かを追った科学ミステリー？著者の体験を追憶していく中から、次第にその本質に迫っていくアプローチは、理系の学者とは思えない筆致の鮮やかさである。かなり難解ではあるが、それゆえに生命の深遠さが浮き彫りになる功著。

③「東北方」

PHP研究所（東北をこよなく愛する会編著）

復興を目指す東北を理解するための格好の参考書。いかに東北が高いポテンシャルを有しているかを、文化力、人間力、歴史力、産業力、郷土力の五つに分けて、様々な事例を紹介している。東北が日本中でも際立ってユニークな地域であることが分かる。復興を真剣に考えている人には必携だ。

この他複数の先生方から推薦いただいた本から一冊

「しかけ人たちの企画術」

インプレスジャパン（東京企画構想学舎編）



336.1
トウキヨ

借りられる冊数には限りがあります！
予約を入れながら沢山読んで下さい。

Information ギャラリー・ノルド／スタジオ144／AVルーム／図書企画展示

ギャラリー・ノルド

- 10/11(火)～10/15(土)
「二人旅展」
(修士日本画2年／今枝加奈・加藤有希子)
- 10/17(月)～10/29(土)
「インド研修旅行成果報告」
(教養教育センター／久保田力教授)
- 10/31(月)～11/5(土)
「土田恵子展(仮)」
(日本画4年／土田恵子)
※11/3(木)は休館
- 11/7(月)～11/12(土)
「HIROMASA MIYAKE
～SUPA DUPA DRAWING～」
(グラフィック4年／三宅弘真)
- 11/14(月)～11/19(土)
「辻ゆかり展一包裹る一」
(日本画4年／辻ゆかり)
- 11/21(月)～11/26(土)
「カンパニユラ」
(映像3年／村上真美・制野麻美)
※11/23(水)は休館
- 11/28(月)～12/3(土)
「久島優個展」
(日本画3年／久島優)
※12/2(金)は午後1時から開館

- 12/5(月)～12/17(土)
「大学院レビュー」
 - 12/19(月)～12/24(土)
「映像コース三年展」
※12/23(金)は休館
- ## スタジオ144
- 10/3(月)～10/8(土)
「BOOK」
(グラフィック3年／高野拓也・
グラフィック4年／大滝由夏)
 - 10/11(火)～10/15(土)
「mime」
(総合美術コース3年有志一同／
山田千紗都・齋藤真美ほか)
 - 10/17(月)～10/26(水)
「アリス展」
(グラフィック3年／中村妙ほか)
 - 10/27(木)～11/10(木)
「和紙」
文化財保存修復研究センターの東洋絵画
保存修復の研究と、東洋絵画修復ゼミの
演習での成果の展示発表
(美術史・文化財保存修復学科)
※11/3(木)は休館
 - 11/14(月)～11/19(土)
「日常〇日常」

- (チュートリアル Doing Sociology)
- 11/21(月)～11/26(土)
「アイグラム」
(MY(マイ) 洋画4年／吉田真優美・
洋画4年／若林由美子)
- ※11/23(水)は休館
- 11/28(月)～12/3(土)
「世界の始まりの物語」
(日本画2年／若松芽衣ほか)
※12/2(金)は午後1時から開館
- 12/5(月)～12/17(土)
「大学院レビュー」
- 12/19(月)～12/24(土)
「映像コース三年展」
※12/23(金)は休館

AVルーム

- 12/19(月)～12/24(土)
「映像コース三年展」

図書企画展示

- 10～12月
企画展示1：
「企画者の本棚／企画構想学科 教員推
薦本」
企画展示2：
「山形県・東北ゆかりの作家たち」

Topics

数値で見る図書館の利用状況【4～8月】

1) 開館日数、入館者数、貸出者数

	開館日数	入館者数	貸出者数
4月	22	6,127	456
5月	23	14,551	1,370
6月	26	14,853	1,422
7月	27	16,711	1,558
8月	21	15,504	1,638

2) 図書購入リクエスト・貸出予約件数
[]内は内数で、ポータルサイトか
らの申請数。

	リクエスト	貸出予約
4月	23 [18]	122 [108]
5月	24 [9]	42 [32]
6月	39 [26]	61 [36]

7月	54 [32]	54 [33]
8月	31 [11]	26 [22]

3) CiNii論文情報ナビゲータ利用件数
他機関からの資料取り寄せ件数

	CiNii検索	複写	借用
4月	86	2	4
5月	464	43	5
6月	558	35	8
7月	471	75	7
8月	271	9	5

4) 貸出ランキング(今年の4～8月)

1位	ナンバーシックス／ あさのあつこ
2位	日本彫刻史基礎資料集成
3位	プロのデザインルール： 基礎と戦略別ケーススタディ

4位	宮城県史
5位	源氏物語／ [紫式部著]：山岸徳平校注； 1, 2, 3, 4, 5.-岩波書店
6位	宮島達男解体新書： すべては人間の存在のために／ 宮島達男
7位	1Q84 (ichi-kew-hachi-yon)： a novel／村上春樹：book 1～3 怖い絵／中野京子著 [1]～3. 山形県史
10位	漆下遺跡／ 秋田県埋蔵文化財センター編集 修復からのメッセージ／ 森直義著.-ポラ文化研究所 音・辞典：著作権フリーデジ タル音素材集／データクラフト

カウンターから

「検索はできただけで、結局どこにおいてあるかがわかりにくい」「みやすい配置図を設置してほしい」カウンターにはこのような相談が時々寄せられます。

確かに、現在各書棚に掲示している平面図は、大まかな大分類によるものだけ。検索結果と配置図がリンクされていて、かつ画面にもきめ細かい配置図が表示されれば、本を探し出す時間をもっと短縮できるはず。それが無い本学図書館では、どうしたらお目当ての本に素早くアクセスできるのでしょうか。今回は、本学の図書館の特徴を挙げながら、探し方のポイントをみてみます。

●特徴その1…図書館の建物のなかでも置き場所がわかれています。

図書館で所蔵している、約一三万八千冊の蔵書のうち、四割以上にあたる約六万冊の本が、「第一閲覧室」と呼んでいる一階の閲覧室に収納されています。これは、本学の学習・研究内容に照らして、利用頻度がより高い「芸術」「デザイン」の図書を利用しやすい場所に優先して配置しているためです。

蔵書の割合は、「第一閲覧室」に次いで「東北文化研究センター」と「埋蔵文化財」がそれぞれ二割弱、「第二閲覧室」が約一割、残りの一割は「文庫」「大型」「参考図書」「事務室」「浅田文庫」、更に図書館外保管の「仙台スクール」「こども芸術研究センター」等となっています。

図書館の本は「東北文化研究センター」と「埋蔵文化財」「浅田文庫」等の特定の収集分を除き、NDC（日本十進分類法）という主題別の分類方法に基づき分類し、並べられています。

NDCに基づく分類とは、図書を主題内容

により大きく十分野に分類し、更に各分野を十分野ずつに、次々と分類して行く方法で、この分類結果、本棚のどこにあるのかを表す記号が、請求記号と呼ばれるものです。請求記号は一冊ごとの固有の記号ではありません。同じ記号を持つ本が二冊以上、時には十冊以上並んでいる場合もあります。それは例えば、画集等です。「芸術」のなかの「洋画」のなかの「ピカソ」の画集」というように分類されていき、同じ請求記号をもつ異なる本が並んでいくこととなります。

第一閲覧室では「7」「6」「5」「4」「2」「0」、「8」「9」を、第二閲覧室では「1」「3」を収蔵しています。（「表1」参照。）

「表1」NDC分類表

記号	主題内容
0	総記
1	哲学・宗教
2	歴史・地理
3	社会科学
4	自然科学
5	工業
6	産業
7	芸術・スポーツ
8	言語
9	文学

●特徴その2…蔵書の配置に特徴があります。

ここで、分類表が「0」から始まっているのに、第一閲覧室の配架場所の説明を「7」から始めたのは、実際の本棚をイメージしていただくためです。図書館の入り口を抜けるとまず「雑誌」コーナーがあり、コピー機があり、「大型書架」があります。その次に「第一閲覧室」と表される本棚群が現れるのですが、ここからは、先の説明のとおり順、すなわち「7」「芸術の分野から順番に並びます。但し、「8」は壁側、「9」は窓（池）側に並んでいます。この並び順が、皆さんが慣れるまで少し大変な、大きな特徴です。

「請求記号」として表示されている情報に基づき、その本がある場所を文章で説明すると次のようになります。

(一)「山形県の歴史と風土」
…請求記号【291.25＝SH】この本は「2」歴

史・地理に分類され、置いてある場所は入り口側ではなく、西側（奥側）の本棚です。

(二)「新日本古典文学全集」

…同右【918＝SH＝1】「9」文学に分類され、窓（池）側の低い本棚にあります。

(三)「日本映画論」

…同右【7808＝NI＝5】「7」芸術に分類され、中央のエレベータを通り過ぎたあたりにあります。

(四)「美術の物語」

…同右【702＝GO】この本も「7」芸術に分類されていますが、第一閲覧室の本棚の一番入口に近い棚にあります。

(三)と(四)のように、同じ「7」芸術に分類されている本でさえ、本棚に行ってみると場所がかなり離れていることがあります。

●本探しのポイント…検索結果は「請求記号」と「配架場所」をセットで確認しよう！

本の置き場所は請求記号である程度特定できることがわかりましたが、特徴その1で紹介したように、同じ図書館の建物のなかでも、配架場所が何箇所かにわかれています。このため、図書館で本を探す最大のポイントは、「請求記号」と一緒に「配架場所」を確認すること、です。

例えば、次のような請求記号の本は、どこに置いてあるでしょうか。

①【778＝SH＝文庫】
②【15216＝477.5＝大型】
③【1002B＝IR】
④【06ヤチ＝75ヤチ＝91】
⑤【ASADA＝05＝472】

①は「文庫架」、②は「大型書架」にあります。実は、「第一閲覧室」「第二閲覧室」「文庫」「大型」と配架場所はわかれています。同様にNDC分類を使っています。このため、第一・第二閲覧室の本と区別しやすいように、請求記号に「文庫」「大型」の文字を加えて

あります。従って、この文字を無視してしまうと途端に探しにくくなってしまいます。

また、②の先頭にあるアルファベットの「I」は、特にサイズが大きく、大型書架のなかでも別の場所にまとまっていることを表しています。

③は「東北文化研究センター」、④は「埋蔵文化財」です。どちらも本棚は二階にあります。東北文化研究センターの請求記号は数字二・四桁で表わされますが、「(ピリオド)」を使っていないこと、また、埋蔵文化財の報告書類は請求記号の一段目に都道府県名を入れてい

ていること、が一階の本との違いです。

⑤は、見るからに今までの説明と違うということがわかると思います。これは、故浅田孝氏のご遺族からの寄贈による「浅田文庫」に納められています。「浅田文庫」も色々な主題内容を網羅していますが、こちら第一・第二閲覧室の図書と明確に区別するため

のような独自分類による記号をつけています。請求記号で確実に見分けることは難しいので、検索結果に合わせて表示される「配架場所」の情報を見落とさずにチェックしてください。検索用のパソコンには該当する配架場所にチェックを入れるだけの専用メモ用紙を備え付けています。

以上のように図書の並びにいくつもの特徴があります。そこで、いつでも決められた場所にお探しの本があるように、スタッフは図書の整理に心を注いでいます。この地道な作業を毎日行っていることで、皆さんからの要求にすぐに対応することが出来るのです。

本のあり場所がわかりにくい、という不便さに、ビジュアルでお応えすることについては、改善に向けて努力していかねばならない問題ではあります。図書館には、常

にこの問題を解決すべく仕事をしています。皆さんの力強い味方がいます。困った時はどうぞいつでも遠慮せずに、スタッフにお気軽に声を掛けてください。（図書館 佐藤涼子）